

【地元要望を受け市民農園開設】～ 宮崎県宮崎市 ～

1 市民農園名

宮崎市津倉市民農園(宮崎市佐土原町津倉地区)

2 地区の概要

津倉地区は宮崎市北部に位置し、
水稻を中心に施設栽培(キュウリ、
トマト等)も行われている。

中心市街地から車で30分程度で
あるが、農園から5km圏内に住宅
団地が複数あり、団地からのアクセ
スは良好である。



津倉市民農園

3 市民農園開設の経緯

農村活性化の一環として、ふれあい交流の場が欲しいとの地元要望を受け、
住民意向を調査した結果、要望が多かった市民農園を整備することになった。

同時期に、現在農園の敷地となっている農地所有者から、市でこの農地を
有効に活用して欲しいとの要望が出ていた。

このため、市では地元自治会や関係者と協議を重ね、この農地を市民農園
として整備することとなった。整備に際しては村づくり交付金(平成21年
度農林水産省予算措置事業)が活用され、平成22年4月に津倉市民農園とし
て開園した。



園内に整備された広場
交流の場の中心となっている



管理事務所

4 施設概要

- 所在地 宮崎市佐土原町東上那珂
- 施設総面積 10,000㎡
- 区画面積 1区画当たり 15㎡
- 区画数 184区画
- 利用料金 7,200円/年間
- その他

管理棟(トイレ、休憩室)駐車場、
手洗い場、水飲み場、広場、
散水栓、農具等
契約期間2年(更新可能)



栽培風景

5 管理・運営等

管理運営主体：津倉地区自治会

6 農園の特徴

- 野菜の育て方や畑の管理について、管理人(津倉地区自治会構成員)が、畝立てや簡易パイプハウスの設置、栽培指導などを行っている。管理人で指導が難しい作物は、栽培に関する知識を管理人自ら勉強して指導することもある。
- 水が不足する夏場等、利用者の来園状況に応じて管理人が水やりをしている。
- 農業用ため池の水を利用した散水栓が農園ブロック毎に設置されており、水汲みや水運びが容易になるよう工夫されている。
- 農作業に必要な農具等の無料貸し出しや、トイレや休憩室、手洗い場、水飲み場、広場等など設備が充実しており、利用者に好評を得ている。



数区画毎に設置された散水栓



ため池の水を活用した農機具洗い場

7 イベント・交流活動等

開園後3年間は収穫祭を行っていたが、利用者同士の交流が独自に進んでいること、時期(10月後半)的に他のイベントと重なり参加者が少なくなったこと等の要因により、農園主催のイベントは現在行われていない。

8 施設設置効果

- 農園内に整備された広場などで利用者同士の情報交換が行われており、市民の交流の場となっている。
- 口コミで宮崎市内中心部の住民が利用を始め、農園利用を通じて地元自治会と利用者が顔なじみになり、地元自治会の住人が農園の様子を見に来てくれるなど、新たな交流が始まることによって地域の活性化にも繋がっている。

(利用者の声)

- ・日々育っていく野菜の成長が楽しみ。
- ・農園の周囲が水田で囲まれており、田舎気分が味わえてよい。
- ・収穫した野菜を近所に配ることもある。

9 今後の課題・問題点等

- 未利用区画が出てきたため、利用者募集のPRを更に進める必要が出てきている。現在は、農園の目立つ場所に利用者募集の看板設置、市広報やホームページでの募集、市の施設に農園パンフレットを置く、などの取組がされている。
- アナグマの被害が出たことがあるため、現在はアナグマの好物である作物の栽培を控えるなど、工夫して被害が少なくなるようにしている。

【問い合わせ先】

宮崎市役所佐土原総合支所農林水産課 電話 0985-73-1114

http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/business/agriculture_and_fisheries/agriculture/877.html